



## トランスポート リスナー

SIP プロキシ サーバ、プレゼンス エンジン、およびプロファイル エージェントのトランスポート リスナーを設定できます。各トランスポート リスナーは、特定のアドレスとポートの組み合わせにバインドされます。TLS プロトコルを選択する場合、TLS コンテキストも選択する必要があります。

### トランスポート リスナーの検索

ネットワークにトランスポート リスナーが複数存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のトランスポート リスナーを検索することができます。トランスポート リスナーを特定するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザ セッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索 / 一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

#### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified Presence] > [トランスポートリスナー] の順に選択します。

[トランスポートリスナーの検索と一覧表示 (Find and List Transport Listeners)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

**ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

**ステップ3** [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ4** 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.19-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## トランスポートリスナーの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースでトランスポートリスナーを追加または更新する方法について説明します。

### 手順

**ステップ 1** 次のいずれかのタスクを実行します。

トランスポートリスナーを追加するには、[Cisco Unified Presence] > [トランスポートリスナー] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。

- トランスポートリスナーを更新する場合、P.19-1 の「トランスポートリスナーの検索」の手順に従ってトランスポートリスナーを検索します。

[トランスポートリスナーの設定 (Transport Listener Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 表 19-1 の説明に従って適切な設定を入力します。



**(注)** トランスポートリスナーに対する変更を有効にするには、SIP プロキシサーバを再起動する必要があります。プロキシサーバを再起動するには、[Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [設定] の順にクリックします。詳細については、第 11 章「プロキシサーバの設定」を参照してください。

**ステップ 3** データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします）。


### 追加情報

P.19-5 の「関連項目」を参照してください。

## トランスポート リスナーの設定値

表 19-1 で、トランスポート リスナーの設定値について説明します。関連する手順については、P.19-5 の「関連項目」を参照してください。

表 19-1 トランスポート リスナーの設定値

フィールド	説明
名前	このパラメータは、トランスポート リスナーの一意の名前を指定します。
ポート	このパラメータは、SIP トランスポートに対して設定されるポート番号を指定します。
プロトコルタイプ (Protocol Type)	このパラメータは、この SIP トランスポートに対するプロトコルタイプ (TCP、UDP、または TLS) を指定します。
サービスタイプ (Service Type)	このパラメータは、トランスポート リスナーのサービス タイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Proxy Server</li> <li>• Cisco Presence</li> <li>• Cisco Unified Client Profile Agent</li> </ul>
TLS コンテキスト (TLS Context)	このパラメータは、このトランスポート リスナーに関連付けられている TLS コンテキストを指定します。TLS プロトコルタイプを選択した場合に限り、このパラメータが適用されます。 
	<b>(注)</b> 使用可能な TLS コンテキストは、TLS コンテキスト設定のウィンドウで設定できます。

## トランスポートリスナーの削除

この項では、トランスポートリスナーの削除方法を説明します。

### 手順

**ステップ 1** P.19-1 の「トランスポートリスナーの検索」の手順に従いトランスポートリスナーを検索します。

**ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するトランスポートリスナーを選択します。



**(注)** トランスポートリスナーに対する変更を有効にするには、SIP プロキシサーバを再起動する必要があります。プロキシサーバを再起動するには、[Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [設定] の順にクリックします。詳細については、第 11 章「プロキシサーバの設定」を参照してください。

**ステップ 3** トランスポートリスナーを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします)。

トランスポートリスナーが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。トランスポートリスナーが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

### 追加情報

P.19-5 の「関連項目」を参照してください。

## 関連項目

- トランスポートリスナーの検索 (P.19-1)
- トランスポートリスナーの設定 (P.19-3)
- トランスポートリスナーの削除 (P.19-5)

